

平成29年度 事業計画書

社会福祉法人 すこう福祉会
ワークハウス わらしべ
わらしべ相談支援事業所

1. 運営方針	当法人理念に基づき、日中活動の場として就労移行支援事業、
	就労継続支援事業B型、生活介護事業を行い、安定した施設運営を
	行う
	居宅介護事業、福祉有償輸送サービス、地域生活支援事業、相談支援事業は引き続き利用者のニーズに合わせた支援を行う
2. 職員体制	正規職員12名、パート職員10名
	正規職員で早番体制を継続、パート職員は支援内容、利用者人数により
	配置し、充実した支援が行える体制をとる
	パート職員より正規職員へ1名登用 パート職員を増員し利用者への支援体制を整える
3. 利用者数	就労移行支援事業 定員8名 登録者2名
	就労継続支援事業B型 定員15名 登録者23名 (4月より1名増)
	生活介護事業 定員16名 登録者31名 (4月より1名増)
	居宅介護事業 登録者3名
4. 職員会議、 職員研修等	管理者会議、職員会 (月1回)
	各種ミーティング (適宜)
	支援会議への出席を引き継ぎ行い、外部研修、資格取得のための研修
	への職員出席を積極的に行う
	重度利用者の増加に伴い、安心安全な介助を行えるよう、報告、連携、
	相談を随時行う
	送迎者が増加しているため、随時送迎体制を見直し、スムーズな送迎
が行えるよう交通安全講習を行い意識を高める	
5. 衛生管理、 災害訓練等	職員の健康診断を実施し、嘱託医との連携を図っていく
	感染症予防対策 (インフルエンザ予防接種費用の助成、必要物品の購入)
	避難訓練の実施 (火災・地震) 年2回
6. 備品購入、 建物改良等	豆腐製造機器の増設
	入浴設備の入替検討、助成金への申請
	パソコン機器の整備、買い替え

	修繕が必要な箇所は、早急に対応
	授産棟照明のLED化
7. 日中支援	新規利用者の開拓、実習生の受け入れを積極的に行う
	作業内容を充実させるため、豆腐製造数を増やす努力と、販売中心の利用者、職員を配置し、販売促進を行い工賃向上を目指す
	当施設から就労した利用者へは、独自の定着支援を続け、就労を目指す利用者へはその方に合う就労支援を行う
	利用者のアセスメントに重点を置き、支援計画を充実させる
	利用者の希望に沿った行事を行い、余暇支援につなげる
	利用者家族とのつながりを持ち、家族会を行う
	ボランティアを積極的に受け入れる
8. その他	経理委託会計事務所と月次決算報告を行う
	「わらしべを支援する会」との協働する
	高畑区との連携
	自立支援協議会への参加と地域の福祉サービスの情報収集
	グループホーム設立への準備
	入浴設備故障時の対応策について検討していく